

# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会学校教育部 学校教育推進室 平成30年9月7日  
 〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標  
 すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
  - 総合的視点に立つ教育の推進
  - 人間尊重に徹した人権教育の実践
  - 信頼に応える学校園経営
  - 学校園・家庭・地域の協働

## 第1回

# 中学校生徒会交流会 開催！

第1回中学校生徒会交流会が8月20日（月）近江堂リージョンセンターにて行われました。この交流会は、東大阪市の全25中学校の生徒会代表が集まり、意見交流や協議を行うことで、生徒の自主的・主体的な姿勢を育むとともに、市内全体の生徒会活動の活性化を目的としています。

交流会前半では、各校が力を入れている生徒会の取組みをパワーポイント等を活用して分かりやすく発表してくれました。「いじめゼロキャンペーン」や「クリーン作戦」など、学校を良くしていきたいという強い気持ちで、生徒会活動に取り組んでいることがよく伝わる発表でした。なかには、小学校と中学校が連携して、共同のあいさつ運動や募金活動を活発に行っている様子や校区の安全マップづくりを行っている様子等の発表もありました。また、同じような取組みでも、実施する時間帯や他の委員会との協力など学校の実情に合わせて工夫されている様子が良く分かるものでした。発表を聞いていた生徒も、メモを取りながら真剣な眼差しで発表を聞いていました。

後半には、4～6人のグループで「具体的な取組みの紹介」「スマホの使い方について」「いじめの防止対策」をテーマに協議を行いました。初めは多くの生徒が緊張した面持ちでしたが、交流をしていく中で自然と緊張もほぐれ、活発な意見交流が行われました。

各校の発表を受けて、11月に行われる大阪府生徒会サミットの代表校を決定する投票が行われ、昨年度に続き小阪中学校が代表校に決定しました。小阪中学校には、東大阪市の生徒会交流会の取組みを発信してもらいます。また、東大阪市の生徒会活動の活性化につなげるため、府内の様々な取組みから学んだことを持ち帰って第2回の生徒会交流会で報告してもらおう予定です。

最後に、花園ラグビーワールドカップ2019推進室から、来年本市花園ラグビー場で開催される「ラグビーワールドカップ」に向けて、生徒会のみなさんにも協力していただき、一緒に東大阪を盛り上げていきたいというお話がありました。今後、各中学校で「ラグビーワールドカップに向けて自分たちができること」を考え、第2回の生徒会交流会では各校からの意見を持ち寄り話し合っていきます。



取組み発表の様子



他校の取組み発表を聞く様子



グループ協議後の意見交流の様子

## ☆『できる喜び』『わかる喜び』のある学校生活をめざして…

～特別支援教育に関わる夏期研修会より～

今夏、教職員（巡回指導・相談新規訪問対象校）への研修に加え、介助員・ケアアシスタントのさらなる資質向上をめざし、特別支援教育研修を実施しました。研修により学んだことを子どもへの支援の充実につなげていきます。

### 巡回指導研修



「効果的な支援を行うために」と題し、東大阪市立障害児者支援センター 作業療法士興梶清美先生にご講義いただきました。目標と課題の考え方から、姿勢や手の機能発達などの具体的な事例を挙げて支援の仕方を教えていただきました。また、グループワークで動作分析に取り組み、そこから見えてくる課題に対して、「どのような支援ができるか」「どのような参加の仕方があるか」というような段階を踏んだ課題の考え方を共有することができました。今後、支援を行う際に大変参考になる研修となりました。

<感想より・・・>

- ・動作分析では実際に考えることによって深く考えることができた。
- ・実践を交えた講義だったので、児童を思い浮かべ考えることができた。

### 巡回相談研修



「発達障害の特性の理解と支援について～構造化のアイデアを活用しよう～」と題し、東大阪市立障害児者支援センターPALの上田裕子先生にご講義いただきました。発達障害の特性から構造化のアイデアに至るまで、支援のポイントについて多くのことをご教授いただきました。まわりの世界の意味を本人がわかる形で伝えることの大切さや、子どもの特性を知って支援を行うこと、子どもの強みを生かし弱みを補うことの大切さなど、特別支援教育の核となるであろう内容について、改めて再確認することができました。

<感想より・・・>

- ・軍手を用いた体験研修が非常におもしろかった。実際にこどもたちの目線にたって物事を考えることができた。ぜひ実践でも役立てたい。

## SUMMER ENGLISH VILLAGE (夏休み英語村)

### Challenge the ALTs

夏休み英語村が7月26日(木)、27日(金)に荒本人権文化センターで開催されました。夏休み英語村は、ネイティブスピーカーである外国語指導助手(ALT)とともに英語のみで1日を過ごし、普段の授業で学習した英語表現を様々な遊びや活動の中で活用することで、英語によるコミュニケーション能力の基礎を養う取り組みです。

当日は、英語村への入村パスポート申請から始まり、自己紹介カードの作成、ALTから出される18種類の課題に取り組み、最後にはALTを含む5人グループによるオリジナルの桃太郎劇に挑戦しました。



↑マンツーマンで課題に挑戦!



↑入村できる?パスポート申請中!

参加した児童生徒からは、「意外と英語を使って自分の思いを伝えることができた」「英語で言っていることは理解できたが、自分の言葉が英語で出てこなかった。」「こんなに英語を話したのは初めて」などの声があり、貴重な体験となりました。これからも子どもたちの英語に対する関心・意欲を高める取り組みを工夫し、臆することなく積極的に英語でコミュニケーションを取ることができる児童生徒の育成を推進していきます。